

# 県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり  
「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成30年9月3日発行（第5号）

## 教員の授業力向上を目指して

平成30年度学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力ブラッシュアップ研修国語科、算数・数学科重点校第1回授業発表会が開催されました。重点校での取組を参考にして、自校の授業改善を進めていきましょう。

### 《重点校》筑西市立中小学校（算数・数学科）6月6日（水）

4年生の「角度」の単元で、本時の目標を「1組の三角定規を組み合わせてできる角度の求め方を説明することができる。」と設定し、授業を行いました。

【義務教育課 宇都木 健生 指導主事より】

- ① 「自分の考えを伝え合い、まとめる」だけではなく、「友達の考えのよさに気づき、その気づきを自分の考えに生かす」ことも大切であること。
- ② 学級全体で比較検討する際、ある児童から出された意見を基に教師が全体に問い返し、出された考えを学級全体で高めていく時間を大切にすること。
- ③ 答えが正しいか正しくないかだけで終わる話し合いではなく、児童がなぜそのような考え方をしたのかを学級全体で考えていく話し合いが大切であること。



【ペアでの話し合い】

### 《重点校》八千代町立下結城小学校（国語科）6月22日（金）

5年生の教材「世界でいちばんやかましい音」において、本時の目標を「物語全体を捉え、最もおもしろいと思うところについて交流することを通して、複数の叙述を関係付けながら、自分の考えをまとめることができる。」と設定し、授業を行いました。

【義務教育課 大越 茂 指導主事より】

- ① 読みを深めるために発問、指示の内容やタイミングを適切に行うこと。
- ② 交流する前に、自分の考えをもち、交流の目的を明確にすること。また、型にはめるのではなく、互いの考えを出し合いながら深めていくこと。
- ③ 児童が記述した内容が目標を達成しているのかを、一つ一つ丁寧に見ていくこと。



【フレイムボードによる話し合いの可視化】

### 《重点校》坂東市立岩井中学校（国語科）7月12日（木）

全学年1学級ずつ、以下のとおり公開しました。

- 1年生「さんちき」：自分が選んだ面白さについて分析的に捉え、捉えたことを踏まえて読みを深めることで、内容の理解に役立てることができる。
- 2年生「字のない葉書」：「字のない葉書」と「ガラスの小びん」の構成や展開、表現の仕方を踏まえて読みを深め、その意味や効果をまとめることができる。
- 3年生「形」：古典作品と「形」の2つの作品の共通点や相違点を比較することを通して、「形」の登場人物の設定、構成や展開、表現の特徴について評価することができる。

【義務教育課 大越 茂 指導主事より】

- ① 文章全体を通して、生徒が必要に応じて適切に思考ツールを選び、使用すること。
- ② 教師は、生徒の発言や質問に対して、切り返しの発問を考えておくこと。
- ③ 本時の授業で身に付けたい力を明確にし、具体的な評価規準を設定すること。



【課題を解決するために互いの考えを伝え合う】

3校の指導案及び授業研究会についての報告書は、教育情報ネットワーク上に掲載されております。

【生徒指導班より】 2学期のスタートにあたって ～「小さな変化」に目を向ける～  
長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。子どもたちの様子はどうでしょうか。子どもたち一人一人の様子を確認してみましょう。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 顔色がすぐれず元気がない          | <input type="checkbox"/> 夏休みの課題が未提出である  |
| <input type="checkbox"/> 保健室に通う回数が増える          | <input type="checkbox"/> 頭髪、服装、持ち物が変化する |
| <input type="checkbox"/> 部活をやめた、転部した           | <input type="checkbox"/> 極度にやせた         |
| <input type="checkbox"/> 無断欠席、遅刻、早退が多くなる       | <input type="checkbox"/> 言葉使いが乱暴になる     |
| <input type="checkbox"/> クラス内の交友関係に明らかな変化がみられる |   |



### 【生涯学習班より】

- **就学前教育・家庭教育推進室から** 「家庭教育支援資料（保護者対象）」の活用を！
  - ・家庭教育ブックひよこ（3歳～5歳）、家庭教育ブック（就学前～小学4年）、家庭教育ブックつばさ（小学4年～6年）を家庭教育学級等の講座で取り上げるなど、積極的な活用をお願いいたします。講師として、県西教育事務所、市町社会教育主事、家庭教育推進員がサポートします。
- **チャレンジいばらき県民運動から** 「第46回花と緑の環境美化コンクール」
  - ・学校花壇の部（県西管内）では、12校の応募がありました。（全県では237校）その中で、坂東市立岩井第一小学校と五霞町立五霞東小学校が一次審査を通過しました。8月24日（金）には、二次審査を現地で実施しました。

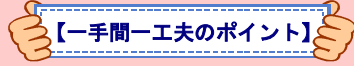
【シリーズ「授業の中での人づくり」64】～中村明美 教諭(境町立猿島小学校)の実践～

境町立猿島小学校では、「児童が自ら考え、学び合う授業づくりをする。」を組織目標として掲げ、授業づくりを核とした研修体制のもと、学び合いを生かして児童の考える力の向上に全教職員で取り組んでいます。また、「さしま」を合い言葉に「㊟さわやか挨拶 ㊞しっかり運動 ㊟まじめに学習」の習慣が身に付く児童の育成に向けて、毎日の教育活動に取り組んでいます。中村明美教諭は、道徳科の授業を中心に「考え、議論する」時間を設定した授業づくりを展開し、主体的・対話的で深い学びの実践を目指し指導にあたっています。

【実践例】 第1学年 いつもすなおに (A2 正直, 誠実)

教材:「くまさんのおちやかい」教育出版 小学道徳1はばたこう明日へ

くまさんからのお茶会の案内が掲示板にあり、それを見たさるさんは、「もっとごうかにしてあげよう。」と勝手にケーキやお菓子の絵を描き足してしまう。当日集まった森の仲間は、「もっとたくさんあるかと思った。」とくまさんを非難する。さるさんはその場で下を向いてしまう。ねらい: うそやごまかしをせず、明るい心で生活していこうとする心情を育てる。



【一手間一工夫のポイント】

～考え、議論する道徳科の授業とするためのポイント～

①場の設定

- ・教室内の机の配置をU字型にする。
- ・中央のスペースを、読み聞かせやロールプレイの場にする。
- ・児童自ら考えることができるように、導入では、掲示板を見る「さるさん」の立場になる場を設定する。

②導入

- ・「こころのなかアンケート」と題して、うそやごまかしについてのアンケート結果を発表し、クラスの現状を伝える。うそをついたときやだまされたときの気持ちにもふれる。

③展開(前段)

- ・全員「さるさん」のお面を作成し感情移入しやすくする。
- ・「さるさん」がくまさんのポスターに書き込みをしてしまった気持ちを理解できるようにロールプレイを実施する。

④展開(後段)

- ・「もし、自分がさるさんだったらどうしましたか。」と発問した。【本時の中心発問】
- ・ペア学習及びグループ学習を取り入れ、友達の考えとの相違に気付いたり、自分の考えを広げ深めたりできるようにした。  
【おもな児童の考え】  
・みんなの前では謝れないな。  
・あとでそっと謝ろうかな。

⑤終末

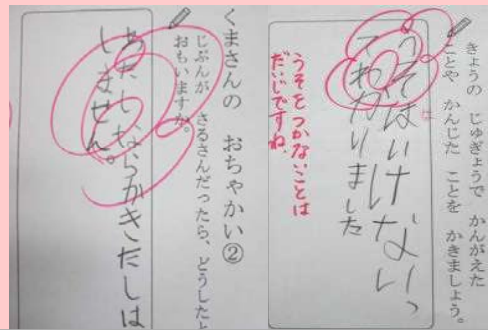
- ・道徳ノートに、ワークシートを見開きで貼り、いつでも見返せるようにする。
- ・振り返りの時間に、今日の道徳で思ったことを自分の言葉で書き表す。



児童が向き合って話し合うことで「顔を見て話す、聞く」が自然にでき、集中して話し合いができるようになった。



指導者の読み聞かせは、読むことが苦手な児童にも内容が捉えやすく、自由な意見を引き出すにも有効であった。



道徳ノートより  
(左: 中心発問に対する自分の考え / 右: 振り返り)

【中村教諭から】

答えが一つではない道徳的な課題を、自分自身のことと捉え、向き合うための授業を展開することは、「考え、議論する道徳」の主軸になることと考えています。今回、ペア学習やグループ学習を取り入れ、様々な話し合いの場を設定したことで、児童から様々な意見が出され、それぞれの価値を認め合うことができました。中には、仲間たちとの「信頼」や公共マナーの「規則の尊重」といった項目にふれて話す児童もいました。

低学年では、語彙や話し合いの経験も少ないため、他教科での「学び合い学習」を充実させながら、深まりのある話し合いの経験を今後も積んでいきたいと思ひます。さらには、生活の中において、道徳的価値を実践しようとする児童の育成を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

【人事課からのお知らせ】 幼児児童生徒の安全確保及び学校事故の未然防止

○ 熱中症事故の未然防止

- ・体育の授業、運動会練習、部活動等での十分な配慮を！  
※適切な休憩、こまめな水分補給（多量に汗をかいた場合は塩分補給も）等

○ 服務規律の確保について

- ・教職員は、未来を担う児童・生徒の教育に携わっているという誇りと責任を自覚することが大切。特に飲酒運転の根絶をお願いいたします。

《飲酒運転根絶のためのポイント》平成30年8月10日付、義教第1275号「服務規律の確保について（通知）」

- ① 飲酒を伴う外出の際には、車を運転しない。
- ② 一口でも飲酒したら、絶対に車を運転しない。
- ③ 飲酒の翌日であっても、飲酒運転になることがあるということを認識する。

教員免許更新の確認 平成30年度の教員免許更新講習受講対象者

・第9グループ (40人中16人申請済み) 残り24人! (平成30年8月17日現在)

※各学校で必ず免許状や修了確認証明書等の原本で確認するようお願いいたします。